

Vol.144

院長 関の

Face to Face

2020年6月1日発行

痛みは病気のサインとい
いますから、痛みを嫌わず
痛みの原因を探ることはと
ても重要です。しかし、例え
ば腎臓を「物言わぬ臓器」と
称するように、痛みも何も
なく病が進行することもあります。
そのひとつが今回の
テーマ「歯周病」です。歯周
病は歯を失うだけでなく、
歯周病菌が胃腸で吸収され
全身を巡ることで、狭心症
や心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病、
など多くの疾患の一因であ
ります。

歯周病は痛くない



低体重児早産、誤嚥性肺炎
など多くの疾患の一因であります。
痛みがない替わりに、毎日の歯磨きで気をつけるポイントが沢山あります。まず、歯周病菌が出たんぱく質分解酵素は新型コロナウイルスが粘膜から感染するリスクを上げるといわれています、コロナウイルスが体内に侵入する受容体が最も多いのは舌と口腔粘膜です。静かに進行して重大な病を引き起こす歯周病菌。コロナ騒動を機にもう一度口の中を見直して見てください。



関修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・整体院・
鍼灸院 院長

代替医療の総合治療院としての
確立を目指す。タイトルのface
to faceは「患者さん自身と向き
合って患者さんの症状と闘う」こ
とを願つてつけた

※毎月一日の発行です